

## 友の会通信

2011  
Vol.  
24

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～

## 視察研修会

～ 栃木県立博物館・木の葉化石園～

平成22年11月7日(日)



秋晴れのすがすがしい空気の中、総勢37名の参加により「友の会視察研修会」は7時30分にスタート。上信越道、関越道、北関東道、東北道と高速道路を乗り継ぎながら、目的地である栃木県立博物館には定刻通り10時に到着することができました。

解説員さんからは、40年代から現在までの里山について説明を聞き、環境が動植物に与える影響の意味を考えさせられました。その後は自由見学し、館外の木々が紅葉している姿に感激しながら博物館を後にしました。

第二の研修地、木の葉化石園では、30万年前の当地産原石を割って化石探しを体験しました。カエデ、ブナ、ツツジなどの植物化石を取り出したり、数少ない昆虫化石を発見したりしました。誰もがハンマー片手に夢中になるひとときでした。

帰りは、渋滞を予測した運転手さんが機転を利かせて日光方面へ向かい、足尾から草木ダムを通過してみどり市にでるルートをとりました。途中、五十里ダム付近の紅葉が夕日に映え、素晴らしい景観で研修旅行に花を添えました。自然史博物館には18時30分着、大変お世話になりました。

## 参加者の声 sankasha no koe

🍁化石探しが楽しかったです。なかなか個人では行けない施設を見学できてよかったです。

(22-235 柳澤 敬一)

🍁化石の発掘体験が面白かったです。バスの時間が長かったけど、車に乗っているのが好きなのでよかったです。

(22-168 岡野ななみ)

🍁化石のほりだしが楽しかったので、また来年も木の葉化石園に行きたいです。

(22-170 岡野真士)

🍁今年は地質・地層観察会がなかったので、木の葉化石園で発掘体験ができてよかったです。この視察研修旅行は、毎年紅葉狩りが一緒にできるのでとても楽しみにしています。

(22-020 倉金秀行)

🍁栃木県立博物館では、栃木ならではの展示が見られてよかったです。一年振りの参加でとても楽しかったです。

(22-021 倉金由起子)

🍁栃木県立博物館では、群馬と栃木の違いがわかってよかったです。日程にない「日光おかし工房」に寄れてとても楽しかったです。

(22-022 倉金香菜子)

🍁化石をわったら、きれいな葉っぱの化石が出てきてうれしかったです。

(22-024 倉金遥子)

🍁初めて参加しましたが、化石の発掘という体験ができてよかったです。

(22-165 福島尚嗣)

🍁木の葉化石園での発掘体験はとても楽しい時間でした。

(22-174 福島由紀江)

🍁栃木県立博物館、木の葉化石園、いずれも初めてでしたが楽しめました。栃木県立博物館のスロープ状の展示が印象的でした。

(22-001 石田忠義)

🍁近くて遠い栃木県。個人ではなかなか行けない場所だったのでよかったです。木の葉化石園での作業が思いのほか面白かったです。

(22-094 今井 幸)

🍁博物館では、きれいな宝石を見ることができてよかったです。化石園では、葉の化石がとれてよかったです。

(22-095 今井理貴)

🍁博物館の展示物の中に、とても可愛いものがありました。楽しい、美しい、思い出に残る旅をありがとうございました。

(22-139 黒澤弘子)

🍁栃木県立博物館、木の葉化石園は県や地域の博物館として、自然や歴史を紹介する展示にスロープ等いろいろな工夫がされていてとても参考になりました。

(22-197 堀越武男)

🍁栃木県立博物館の公園には多種の木が植えられ、紅葉が素晴らしかったです。木の葉化石園の発掘体験では、久々にドキドキしました。会長さんのご参加には感動しました。

(22-134 堀越友子)

🍁栃木県立博物館は、群馬と異なる内容・視点がありとても面白かったです。

(22-053 徳江 紀)

🍁たくさん見所がありましたが、特に印象的だったのが、栃木県立博物館のスロープ展示(落葉広葉樹林帯展示)でした。木漏れ日や吹き抜ける風がリアルで感動ものでした。お昼のお弁当も美味でした。

(22-133 北川真理子)

# 植物観察会

～池の平湿原～

平成22年8月21日(土)

例年のない猛暑続きの夏、高山での植物観察会は避暑と学習の一石二鳥の日となりました。受講生18名は地蔵峠に参集し、9時40分に池の平湿原に向かいました。標高2000mを越す池の平には時折涼風が吹き、参加者をホッとさせました。

講師は、里見哲夫先生と堀越武男先生です。里見先生を先頭に「村界の丘2098m」を目指し、一列になって登りました。歩道の左右にはトリアシショウマやマルバタケブキが茂り、斜面にはワレモコウやヤナギランの群落が広がっていました。その後、ネバリノギランの茎・花の粘りを体感しながら見晴らし歩道をゆっくりと進むと「雲上の丘2110m」に到着しました。

池の平湿原を一望し、ミヤマオダマキ・シャジクソウ・マツムシソウなどの花々に囲まれてのおにぎりの味は格別でした。

「ピグミーの森」の中は下り坂で、湿った歩道の両側にはシラタマノキ・マイヅルソウなどの群生地があり、そこで見た純白のシラタマの実はとても珍しいものでした。ピグミーの森を下り、少し登ると「見晴コマクサ園」に着きました。ここには、コマクサ・キンレイカが金網で保護され群生



していました。高山植物の女王の名に相応しく気品ある姿に一行は魅了されました。

湿原に着くと木道の両側にマツムシソウ・ワレモコウ・ヤナギランが群生していました。また、クジャクチョウやベニヒカゲなどたくさんの蝶が花に群がっている光景は見事でした。キオン・コバイケソウ・リンドウ・ヨツバヒヨドリ・ウメバチソウ等の説明を聞きながら予定通り午後2時に出発地点に戻りました。90種に及ぶ植物観察は充実した4時間でした。

## 里見哲夫先生の話聞いて

### 「こんなところにもオオバコが…」

「オオバコは踏みつけに強く、人などがよく踏む道路脇などに生えます。このオオバコはタネに特徴があって、粘りがあるので人に踏まれたときにクツについて遠くまで運ばれます。これから観察する丘の上にも



オオバコが生えているか気をつけて見ていきましょう。」という里見先生のお話を聞いて探してみたところ…なんと池の平湿原が一望できる「雲上の丘」にオオバコが生えていました!



### 「母は強し…!!」

「これは、カラマツの倒木です。倒れても枝が垂直に立ち上がり立派な木となります。一本の木に18本もの木が育っています。」…生きる力を感じさせるこの一本に感動しました。「素晴らしい!!」

# 私が見つけた自然

友の会会員からのおたより



## 『オオタカ』

期日:平成22年9月1日 場所:玉村町

玉村町に一人で探鳥をしに行ったときに出会いました。この地域は休耕田も多く、群馬県内としては珍しく、シギやチドリといった野鳥を観察できます。

その日も何種かのシギを観察し、帰路についたところ、田んぼの畦にポツと何か落ちていました。「ネコかな?」と思い何気なく双眼鏡をのぞいたところ、「オオタカ」でした。手前には、ハクセキレイもいました。なかなか面白いとりあわせだったので、思わず撮ってしまいました。その後、オオタカは、ダイサギの群れに突っ込んでいき、群れを蹴散らしながら去って行きました。

今回の場所は大きな道路の近くでしたが、そんな所にも稀少な種類がいることに驚かされました。

(22-001 石田 忠義)



## 『クサキリ』

期日:平成22年10月1日 場所:東京都町田市

「小学館の図鑑NEO・昆虫」を自然史博物館学芸係の高橋克之さんから紹介していただいてから、ますます“ムシ好き”になった孫。一緒に「ムシ探し」に出かけた草原で、孫が見つけた。

脱皮したてのバツと真っ白な抜け殻。バツは、まだ透き通っていて、じつとしていました。しばらく見ていると、羽の色も濃くなり、手を出すと茎の後ろに回り込むようになりました。調べたら「クサキリのオス」でした。

孫と“NEOを持つてのムシ探し”は、とても楽しい時間です。

(22-043 持田 祥子)



## 『シナノタンポポ』

期日:平成22年12月5日 場所:安中市上間仁田

前日の忘年会で疲れた体を整えようと、安中市の「学習の森 ふるさと学習館」近くにある崇台山に登ってきました。

真っ青な空の下、田んぼの地図記号のようになっている冬の田を眺めながら歩いていると、あぜにタンポポが咲いていました。「この時期だから、セイヨウタンポポかな?」と思いながら花の裏をのぞいてみると、なんと在来のシナノタンポポでした。

セイヨウタンポポは春から秋にかけてほぼ1年中花を咲かせるに対して、在来のタンポポは春しか花を咲かせないと聞いていました。とても暖かな日が続いていたので、タンポポも春かと勘違いしたのでしょうか?

(友の会事務局 上原久志)



## イベント紹介



### バックヤードツアー

日時：3月6日(日) 10:30~11:30  
 対象：小学3年生以上  
 (友の会会員、小学生は保護者同伴)  
 定員：30名(先着順)  
 集合場所：実験室  
 申込方法：2月12日(土)より電話で友の会事務局へ  
 申込む(TEL 0274-60-1200)

### 友の会総会

日時：5月8日(日)14:00~14:45 / 場所：学習室

### 友の会講演会

日時：5月8日(日)15:00~16:00  
 講師：長谷川善和名誉館長 内容：化石にかかわるお話  
 場所：学習室

### 第37回企画展

#### 「脳を学ぶ 脳で学ぶ」

会期：3月12日(土)~5月15日(日)  
 観覧料：一般 600円 高校・大学生 300円

### 第38回企画展

#### 「よみがえる!謎の巨大恐竜 スピノサウルス」

会期：7月16日(土)~11月20日(日)  
 観覧料：一般 700円 高校・大学生 400円

群馬県立自然史博物館 友の会

## 更新手続きと 新規入会手続きを



### 年会費

- ①一般会員 3,000円
- ②高校生・大学生会員 2,000円
- ③小学生・中学生会員 1,000円
- ④家族会員 5,000円
- ⑤賛助会員(1口) 10,000円

### 入会特典

- ①博物館入館無料
- ②博物館からの情報配布
- ③友の会行事等への参加
- ④ミュージアムショップの割引

★現会員の方は、引き続き入会をお願いします。  
 さらに、お知り合いの方に新規加入を  
 おすすめいただければ幸いです。

## 「私が見つけた自然」募集中

自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録し、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館友の会へ封書またはメールでお送りください。友の会通信で紹介させていただきます。なお、応募していただいた方全員にオリジナルポストカードを、友の会通信で紹介させていただいた方には素敵な賞品をプレゼントいたします。

## 博物館利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後5時  
(ただし入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)、  
年末年始、  
その他(博物館ホームページでご確認ください)
- 観覧料 一般500円 高校・大学生300円  
中学生以下 無料  
企画展開催中は特別料金(左の「イベント紹介」をご覧ください)  
※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をおもちの方とその介護者1名は無料

## 編集 後記

今年の友の会行事も、あと3月のバックヤードツアーのみ。長野県池の平の植物観察会や栃木の県立博物館と木の葉化石園などの視察研修に、多くの会員が参加してくださいました。中でも子ども達の参加が多かったことが印象に残りました。子ども達にとって、発見と思い出を残せたでしょう。「私が見つけた自然」は、会員が主体的に参加できる企画です。写真はもとよりコメントも興味深く、応募に感謝するとともに、多くの投稿を待っているところです。  
 (友の会通信編集委員 徳江 紀)